



日々の暮らしに

香川芳子 女子栄養大学学長

体をたいせつに使って  
やりたいことを  
実現するのが人生です

70歳代になった教え子が、絵を持って訪ねてくれました。来し方に耳を傾ける中で、心からうれしく思うことがありました。ご主人とは卒業と同時に結婚し、幸せな家庭を築かれたことがよくわかりました。亡くなられたご主人は「あなたがいるから私は安心して仕事ができる。健康で充分に働くことができ、感謝している」といつも語り、満足して逝かれたそうです。毎月のお墓参りは欠かしたことがないようですが、子育ても終了したころ始めた油絵が大成して、現在は画家として人生を楽しんでいます。

とのこと。「栄養学を学び、実践の方法を体得したからこれまでの人生がありました。心から感謝しております」と話してくれました。大学にも保護者会がある時代ですが、皆さん、最大の関心事は子どもの就職です。私は目先のことより、人生は、今ある自分の体を大事に使ってやりたいことをいかに実現するかがたいせつ、その基礎をつくるために、学園での学びや、学園に通わなくても最新の栄養学がわかるように毎月刊行している『栄養と料理』があると確信しています。